

OMF 宣教祈禱カレンダー

2020年 9月

OMF インターナショナル日本委員会

耳を植えつけた方が 聞かないだろうか。目を造った方が 見ないだろうか。
(詩篇94:9)

1日(火) カンボジア N師	主の時に任地に戻れ、良い大家さんがいる安全な家が見つかりますようにお祈りください。
2日(水) 日本 佐味湖幸師	ネット会議システムを使っての宣教祈禱会に、さらに参加者が与えられますように。また、新しい形の宣教啓発・動員を考えることができますように。
3日(木) タイ・ミエン族 有澤師夫妻	8月15日、ミエン語保存活性化同好会でミエン語識字教師の任命・派遣式が行われました。バンコク教室を含む7か所で、クリスチャンとそうでない人も無給で教えています。会の目的を共有することで、証しの機会が与えられますように。
4日(金) マレーシア サバ州	オンライン授業を続けているサバ神学院に安定した通信環境が与えられますように。また、オンライン授業で予想外の通信コストがかかっている学生たちに、必要な基金が備えられますようにお祈りください。
5日(土) カンボジア 今村師夫妻	トロペアンベン村のソッケーン兄サオピア姉家族の歩みのために。シアンメイさん(長女小4)の受洗準備クラスの祝福のために。
6日(日) 香港	今日6日に予定されていた議会選挙は一年延期されました。香港のため、また現地の教会とクリスチャンたちが主の励ましをいただきつつ歩めますように。
7日(月) 日本 ディアスポラ伝道 横山好江師	ディアスポラ伝道部ヨーロッパ担当リーダーのために。相応しい人材が導かれるよう、お祈りいただき感謝します。メンバーの人事担当者、候補者の人事担当者も求めており、少し動きがあります。相応しい器が与えられるよう、収穫の主にとともにお祈りください。

<p>8日(火) ミャンマー B師</p>	<p>パンナンエイン(障がいを持つメンバーたちの制作グループ)の働きのために。働いているメンバーたちが収入を得ることができるよう、仕事を提供し続けていくために、製作品販売の新しい道が開けますように。メンバーが心を合わせて主に信頼し祈ることができますように。</p>
<p>9日(水) 日本 伊藤めぐみ師</p>	<p>オンラインを併用した、新しい形のOMF祈禱会を名古屋でもっています。ますます祈りが用いられ、宣教の働きが進みますように。</p>
<p>10日(木) 日本委員会</p>	<p>毎月10日は経済のために祈る日です。宣教の働きの必要が神様の方法で続けて満たされますように。</p>
<p>11日(金) 英国 ディアスポラ伝道 相馬裕美師</p>	<p>新しいミニストリー「移動図書館」「(帰国された方のための)バイブルスタディ」が宣教のためにますます用いられますように。</p>
<p>12日(土) タイ・ミエン族 有澤師夫妻</p>	<p>チェンマイ・ミエン宣教教会の土曜学校、ヘブル語教室、ミエン語教室の祝福のため。学びが、牧師の説教、会員の礼拝姿勢、他県のミエンの村々への宣教へと影響を与えるようにお祈りを。</p>
<p>13日(日) カンボジア N師</p>	<p>同僚が9月に一時帰国します。その間、ジュオ村やヨーン村での聖書の学びグループが守られ、信仰が成長しますように。</p>
<p>14日(月) フィリピン マニラ首都圏</p>	<p>8月初め、新型コロナ感染者の急増により、政府がマニラや周辺地域の外出・移動制限を再び厳格化しました。その結果、多くの産業、そして市民が経済的に打撃を受けています。特に貧しい地域の人々、教会が守られるようお祈りください。</p>
<p>15日(火) 日本 菅家師夫妻</p>	<p>庄一郎師は9月15日～18日にOMF国際主事会議です。ズーム会議のため長時間はできませんが、限られた時間で集中して審議できますように。</p>
<p>16日(水) 日本 佐味湖幸師</p>	<p>10月5、6日に行われる日本委員会の準備のために。ネット会議になる可能性があり、通常より短くまとめる必要があります。初めて会計報告を作成する武藤さんにも主から知恵が与えられますように。</p>

17日(木) カンボジア 今村師夫妻	サムクイ村のスキさん家族(特に長女チャンティーさん)が主を信じることができますようにお祈りください。
18日(金) 日本 菅家師夫妻	容子師の若者たちとの聖書の学びが祝され、一人一人の若者たちが福音を友人・知人に伝えていくことができますように。
19日(土) 英国 ディアスポラ伝道 相馬裕美師	帰国者の準備のためのYouTubeチャンネルを開設しようと思っています。良き知恵が与えられますように。
20日(日) 日本 ディアスポラ伝道 横山好江師	1年延長されたディアスポラ伝道部全体修養会の代わりに、短いオンライン・セッションを3回行うことになりました。この準備のため、また1つ1つが用いられるようにお祈りください。
21日(月) ミャンマー A師	コロナの状況下、お裁縫クラブに新しいデザインや作品を作る上でのインスピレーションが与えられるように。聖書をともに読みつつ主に出会い、この時期に与えられる祝福を豊かに経験できますように。
22日(火) タイ	OMFの文書伝道の働きを担う出版局カノック・バナサーンは、創立50周年を迎えましたが、コロナの影響で経営難です。この出版局が教会やクリスチャンに仕え続けることができるようお祈りください。
23日(水) 北朝鮮	新型コロナの影響で、北朝鮮には半年間物資が輸入されていません。国連食糧農業機関によれば、複数の地域で食糧危機が起きているとのこと(韓国ヘラルド紙5月26日)。主が北朝鮮のご自身の民を守り、彼らの慰めとなってくださいますように。
24日(木) メコン川流域	ベトナム北部からラオスにかけての地域に住む、数十万人ものタイ・カオ族(白タイ族)、タイ・デー族(赤タイ族)には、まだキリストの福音が届いていません。彼らの住む地域に主の教会が生まれるために、神が必要を備えてくださるようお祈りください。
25日(金) 日本 伊藤めぐみ師	在留外国人の方々との交わりが与えられています。神様を信じる者が起こされますように。また、教会にしっかりとつながりますように。

26日(土) 中国	コロナ禍によって精神・感情面で傷ついている人々を助けるために、オンラインでワーカーたちにカウンセリングの訓練が行われています。十分な学びのために、そして各現場で人々の癒やしのために用いられますようにお祈りください。
27日(日) ミャンマー B師	ミャンマー手話聖書翻訳の働きのために。ろうのスタッフたちが聖霊の力によって御言葉を翻訳していくことができますように。話し合いによって適切な手話表現を模索していく過程に主の導きが豊かにありますように。また、B師の手話の上達のために。
28日(月) ミャンマー A師	この1年、修士論文として発見型の聖書研究についてまとめます。学生たちや教会で聖書を読む喜びを分かち合う、地元で用いられる方法を探ります。学びが祝されますように。
29日(火) 環境問題	コンサルタント会社、オーガニック食品の製造、エコ・ツーリズムといった事業を通して、環境保全に関わっているクリスチャンたちのために。コロナ禍の困難な時期でも、主がこれらの事業を支えてくださるように。そして、彼らの働きが、環境にやさしい持続可能なビジネスに成長していけますように。
30日(水) OMF事務局	定期刊行物の刷新のために検討を重ねています。知恵が与えられ、主に喜ばれ用いられるものを作成できますようにお祈りください。



OMF インターナショナル日本委員会発行

〒272-0035 千葉県市川市新田 1-16-14

TEL 047-324-3286 FAX 047-324-3213

(電子メール) XLG01635@nifty.com (郵便振替 No.) 00100-0-615052